

## 令和6年度第1回大府市要保護児童対策地域協議会代表者会議

日時: 令和6年5月17日(金)

午後1時30分から

場所: 保健センター 講義室

### 出席委員 (敬称略)

杉浦至郎・百瀬貴子・中根恵美子・石崎裕史・石田敏之・東千恵子・竹内美喜・  
弓場結子・浅田真由美・伊藤園枝・大嶋光正・蟹江敏広・武村強・塚本和奈・  
伊賀友信

### 事務局

学校教育課係長・福祉総合相談室主査・健康未来部部長・こども若者女性課長・  
健康増進課担当課長・健康増進課副主幹・健康増進課こども家庭センター係  
長・健康増進課こども家庭センター主事

### 欠席委員 (敬称略)

今村繁夫

傍聴者 : なし

### 1 あいさつ

社会福祉事務所 副所長

### 2 自己紹介

### 3 議題

#### (1) 令和5年度実績報告

##### ア 知多児童・障害者相談センター実績報告

令和5年度 愛知県知多児童・障害者相談センターの相談実績について 資料1  
資料1に基づき知多児童・障害者相談センターより説明

#### 委員

- ・警察から心理的虐待の通告が多い理由は。
- ・主な虐待者を割り振る理由はなぜか。

#### 委員

- ・夫婦喧嘩や親子げんかで手を出すという通告が多い。
- ・主な虐待者の振り分け理由は、誰が発端となっているか確認するため。

#### 委員

- ・成人して施設を退所するケースについて、家庭や地域・機関との連携をいつ

頃始めるのか。

委員

・卒業や就職といった区切りで検討をしていく。連携はケースによって違う。

委員

・知的障害相談は手帳の判定の面接で終結しているのか。

委員

・障がい児の支援は市町が行っている。児相は療育手帳の判定を主に行っている。

#### イ 大府市実績報告

資料2

資料2に基づき事務局より説明

委員

・不登校相談が昨年より増加している。発達障がいも関係しているか。

事務局

・多い。面接していく中で、こどもに課題があると思われる。

委員

・5歳児健診を実施する動きがある。(国から補助が受けられる)発達障がいを早めに見つけ、支援学級で教育を受けることで不登校が減るというデータがある。

委員

・ヤングケアラーの疑いがある児童、こども自身に影響を及ぼすことがあれば虐待ととらえてよいか。ヤングケアラーなのか、家族の助け合いなのか、難しい。

事務局

・家事ほぼすべてをやっているならネグレクトとして虐待対応を行う。

・児童の状況を各関係機関から情報を集め、様子を見るか介入するかの対応はケースバイケースである。

#### ウ 児童虐待防止・里親に関する啓発活動

資料3

資料3に基づき事務局より説明

#### (2)令和6年度会議予定

資料4

資料4に基づき事務局より説明

#### 4 意見交換

委員

・昨年度より相談件数が増加している。今後も増えていくと考えられる。こども家

庭センターが設立されプラスの方向になってくれると嬉しい。

・DVがある母子からの相談は、どのように対応しているか。

**事務局**

・大府市ではミューいしがせと連携して対応している。DVや被害の相談を受ける際、相手の意見を聞くことはない。必要に応じて関係機関とケース会議をしている。

**委員**

・こども家庭センターが開設し、母子保健と児童福祉が一緒になったメリットを教えてほしい。

**事務局**

・支援を望まない、了解を得ていない等の理由で、転入時やその他の手続きで市役所に来庁した際に声をかけられない家庭や、その家庭のこどもにも、健診での保健センター来所時に確認できるのは、大きなメリットと感じている。

5 その他

次回予定

日時：令和7年2月頃を予定

場所：保健センター